

## 札幌開建と札幌協の意見交換

### 入札契約制度で情報提供

入札書と技術資料等の同時提出実施

札幌開建は二十七日、北海道建設会館で一般社団法人札幌建設業協会(岩田圭剛会長)との意見交換会を開催した。写真。札幌開建がコンプライアンス推進計画について説明したほか、所管事業概要、入札契約制度について情報提供。

入札契約制度については、六月一日以降に公告する総合評価方式の施工能力評価型で、入札書と技術資料等の同時提出を求めることも説明した。

札幌協から岩田圭剛会長ら十七人、札幌開建から本田幸一郎部長ら十一人が出席



した。  
はじめに、本田部長があいさつ。コンプライアンス推進計画や管内事業概要、入札契約制度など、この日

のテーマを紹介したほか、今後の工事の円滑な発注に向け、業界の理解と協力を求めた。

このあと、札幌開建がコンプライアンス推進の取組や所管事業の概要などについて情報を提供。入札契約制度については、六月一日以降公告の総合評価方式の施工能力評価型で、入札書と技術資料等の同時提出を求めることを説明した。このほか、工事の円滑な施工につなげていくため、監督員と現場代理人の意見交換の場を設けることについても話し合った。

道建設部と札幌協の意見交換会

適切な賃金水準確保を要請

建設業の人材確保で議論も



專業の円滑な執行に向けた取組や建設業の人材確保・育成について意見を交わした。

道建設部から小林真人建設業担当局長ら三人、札幌建管から中村雅彦副局長ら三人、札幌

道建設部、札幌建管は二十七日、北海道建設会館で一般社団法人札幌建設業協会(岩田圭剛会長)との意見交換会を開催した。写真。道から技能労働者への適切な賃金水準の確保について要請があったほか、

協から岩田会長ら十九人が出席した。冒頭、小林局長があいさつに立ち、北海道の経済状況について説明。緩やかな回復傾向がみられる一方、消費税引き上げによる影響が懸念されるとした上

で、地域経済の好循環につなげるために公共工事の早期発注に取り組んでいることを強調した。この日の会合については、「業界の抱える課題を把握し、制度の充実や円滑な事業執行につなげていきたい」と述べた。引き続き、あいさつに立った岩田会長は、技能者などの人手不足に対し、専門工事業団体と連携して取り組んでいる状況を説明。建設業のPR活動や労務賃金の改善などに積極的に取り組んでいく考えを示した。また、品確法の改正にもふれ、「対応について発注者と意見交換していきたい」と述べた。

このあと、意見交換に入り、道が技能労働者への適切な賃金水準の確保について、業界の積極的な取組を要請。円滑な事業執行に向

けて実施した発注予定情報などの早期公表、選択工期制度などの各種取組や建設業における人材確保・育成に向けた取組について意見を交わした。建協からは、二年以上にわたる工事情報の提供や予定価格と実勢価格の乖離解消を求める声などが上がった。

# 技術者不足解決を

札幌建設協

## 開建、建管と意見交換

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は27日、道建設会館で札幌開建、札幌建管とそれぞれ意見交換した。公共工事増加の半面、技術者や技能者の不足など顕在化する課題の解決に向けて協議した。

札幌開建側からは本田幸一部長ら幹部11人、札幌建管側からは道建設部の小林真人建設業担当局長や空知総合局の中村雅彦副局長ら6人が参加。岩田会長は、深刻化する技能者不足問題に関する「専門工事業4団体と若年者の入職促進PRなどを進めている」と現状を紹介し、本年度の重点項目として、社会保険加入や労務費調査への適切な対応を通じた待遇改善に取り組む決意を示した。

札幌開建はコンプライアンス推進計画を中心に説明。本田部長は業界の課題を施策に反映させるため「意見交換の場を数多く持ちたい」と抱負を

述べた。不正防止のために検討していた入札書と技術資料の同時提出は、8月1日以降に公告する工事から適用する方針を明らかにした。



公共工事を円滑に執行できるよう意見交換した

一方、札幌建管は技能者への適切な賃金水準確保を要請。小林担当局長は「地域経済の好循環につなげていきたい」と公共工事設計労務単価と同水準の賃金支払いを呼び掛けた。

札幌建協は、技能者の処遇改善から問題解決を図りたいとし、経営計画を立案する上で有効な2年以上の長期にわたる工事情報などの提供を要望。積算単価と実勢価格とのタイムラグが大きいとして機敏な対応を求め、スライド条項の適用では弾力的な運用を要請した。